

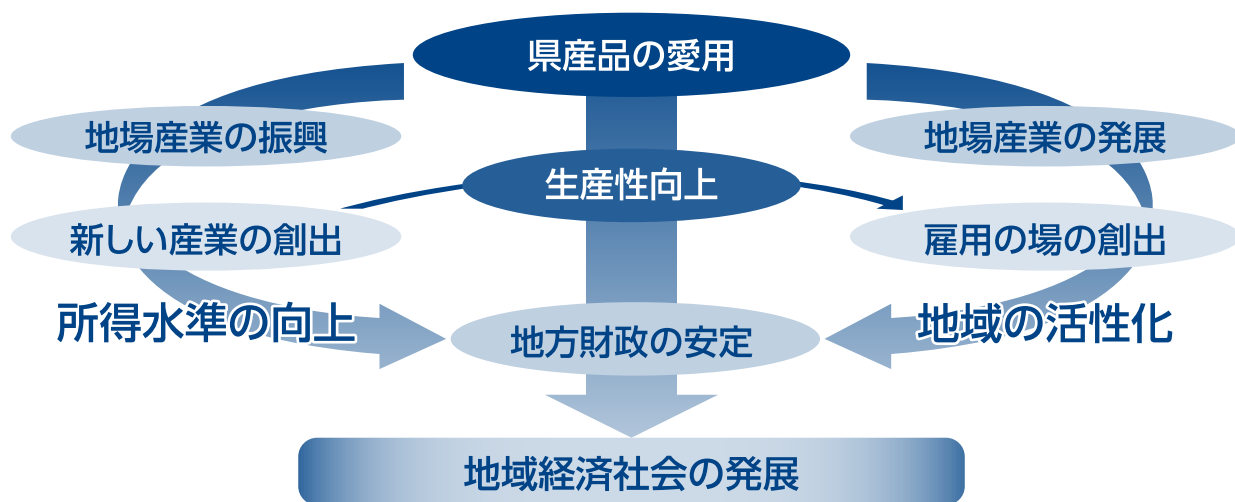
県産品愛用は雇用を拡大し 豊かな沖縄県をつくります

全国平均より高い県内失業率を改善するため、行政や企業、教育機関やマスコミなど、県民が一体となって取り組む「みんなでグッジョブ運動」が2007年からスタートしています。

県内の完全失業率は2007年平均の7.4%から2016年平均が4.4%と大きく改善していますが、全国平均の3.1%との開きもあり、全国で最も失業率の高い都道府県となっています。今後は、産業と雇用の拡大を図りつつ、雇用の質の向上も重要となっています。

「積極的な県産品の愛用」は域内の経済循環を高め、地場産業の振興・発展に大きく寄与するとともに、雇用の創出・確保など地域活性化に直接つながる有効な手段です。

県産品愛用の経済効果



県産品の自給率が変化した場合の経済効果の調査研究をした結果、県内製造業の自給率(32.6%(2005年))が3%及び6%に伸びた場合の生産誘発額、雇用者数をシミュレーションすると、

		生産誘発額	雇用者数
自給率 32.6% (2005年)	3% 伸びた場合	455億6,100万円	4,778人
	6% 伸びた場合	920億9,200万円	9,640人

(公益財団法人九州経済調査協会 試算)

という結果が出ており、非常に大きな経済効果であることを示しています。みんなが県産品を愛用することで、県内産業が振興し、雇用が生まれます。ひいては、私たちの暮らしも豊かになり、住み良い環境を築いていけるのです。私たち一人ひとりが県産品を愛用し豊かな沖縄県をつくりましょう。

県民の皆さまの「県産品の愛用」が**10,000人**の雇用を創出します!!